



ASTON MARTIN

2020.3.4

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

Press Release

**アストンマーティン V12 Speedster:
エキスパート・ドライバーのためのピュアなリミテッド・エディション**

- リミテッド・エディションの V12 Speedster をアストンマーティン本社のゲイドンで初公開
- 88 台のみ製作されるリミテッド・エディションは、一切の妥協を排し、直感的に操作できるオープン 2 シーター
- 「Q by Aston Martin」による F/A-18 カラーがコンセプト・スペック・パックを具現化
- 価格は 765,000 ポンドから、オーダーは現在受け付け中、納車は 2021 年第 1 四半期から開始



2020 年 3 月 4 日、ゲイドン(英国):

本日、アストンマーティン V12 Speedster が、グローバル・デビューを飾りました。このピュアなリミテッド・エディションの製作台数は、わずか 88 台にすぎません。

英国を代表するラグジュアリー・メーカー、アストンマーティンのパーソナライゼーション・サービス部門、「Q by Aston Martin」が手掛ける V12 Speedster は、直感的なドライバーズ・



ASTON MARTIN

カーであり、アストンマーティンの豊かなレーシング・ヒストリーだけでなく、航空機デザインからもヒントを得ています。本日公開された V12 Speedster は、「Q by Aston Martin」が推奨する F/A-18 コンセプトカラーを纏っています。

アストンマーティン・ラゴнда社長兼グループ最高経営責任者 (CEO) の Dr. アンディ・パーマーは、次のように述べています。

「本日、アストンマーティンの最新かつもっともエキサイティングなスペシャル・モデルを披露できることに大きな誇りを覚えています。

V12 Speedster は、Q by Aston Martin チームの多彩な能力と決意を雄弁に物語っています。チームメンバーは、もっとも要求が厳しく、情熱的なお客様に向けて、圧倒的な 2 シーター・スポーツを創造することに全精力を傾けました」

12 ヶ月をわずかに上回る期間で集中的な開発プログラムが実施され、初期設計から最終量産確認に至る全工程を完了しました。V12 Speedster は、「Q by Aston Martin」とアストンマーティン・デザインの類まれな能力と計画性を証明しています。走行可能なショーモデルとして提案された今回の 1 台は、アストンマーティン製品ラインナップに共通するエンジニアリングの才能と最先端の素材が使われ、お客様に驚くべきドライバース・カーをお届けするという弊社のコミットメントを強調しています。

V12 Speedster は、アストンマーティン最新の接着アルミニウム構造を採用するとともに、DBS Superleggera や Vantage のエレメントを流用した結果、ユニークなプラットフォームの確立に成功しています。フロント・ダブルウィッシュボーン、リア・マルチリンク・サスペンションには、コイルスプリングとアダプティブ・ダンピング (スポーツ、スポーツ+,トラックの 3 モード) が組み合わせられ、標準装備される 21 インチ鍛造アロイホイールには、セントラルロック・メカニズムが採用されています。標準装備されるカーボンセラミック・ブレーキは、フロントに 410mm 径、リアには 360mm 径のディスクが装着されています。

ユニークなシャシー上には、ほとんどがカーボンファイバーで製作されたビスポーク・ボディが搭載されています。アストンマーティン・デザイン・ディレクターのマイルス・ナンバーガーは、V12 Speedster について、以下のようにコメントしています。「敢えて一歩退いて、自分達の過去にインスピレーションを求めました。私たちは、DB11 以来、常に未来に目を向けてきました。そこで今回は、少し違った観点を採用してみよう、と思ったのです。このモデ



ASTON MARTIN

ルには、1959年にル・マン 24 時間を制した DBR1 からアストンマーティン 100 周年記念の 2013 年型 CC100 Speedster に至る一連のモデルとの関連性を見て取ることができます。また、ミッドセクションは、1953 年型 DB3S の趣を感じさせます。V12 Speedster は、アストンマーティン・スピードスター・コンセプトの最新バージョンです。弊社の歴史だけでなく、最新鋭のジェット戦闘機にもインスピレーションを求めて、直感的なエクスペリエンスを体験していただくことを目指して開発・製作しました。だからこそ、V8 ではなく、V12 を選択しました。V12 Speedster は、ドライバーの感性に最大限に訴えかけるモデルです。」

ナンバーガーは、次のように続けています。「ルーフもスクリーンもなく、巨大なエンジンと、低く、幅広いショルダー、2 個のハンプ、ドライバーとパッセンジャーを分離する背骨のような形状を持つ圧倒的にエモーショナルなスタイリングに仕上げられています。低く、しかし軽快なリアエンド、大胆な印象のフロントグリル、特徴的なヘッドライト、“ノストリル”と呼ばれるボンネットのデザインエレメントが、見事なコントラストを描き出しています。ノストリルは、かなり長期間にわたって封印されてきたデザインですが、今回のモデルで復活を果たしました。これは、V12 を搭載するスペースがあることを視覚的にアピールし、象徴的なベントが創出されています。」

インテリアでも新たな限界に挑戦し、素材面で伝統とモダンを融合させました。構造部材として機能するサテン・カーボンファイバーと伝統のハンドクラフト・サドルレザー、クローム、アルミニウム、3D プリント・ラバーが見事な調和を見せています。視覚的にも、物理的にも、インテリアからは重量感がそぎ落とされ、スリムで効率的なスタイルが確立されました。しかし、エモーショナルなスタイルやクラフトマンシップなど、アストンマーティン伝統のキャラクターはそのまま残されています。パッセンジャー前方、通常はグローブボックスが配置される場所にリムーバブル・レザーバッグを装着したほか、リアバンパ下に収納スペースを確保しています。

アストンマーティンのゲイドン本社で初公開された V12 Speedster は、伝説の名車、F/A-18 に触発されたコンセプト・スペックで仕上げられています。この仕様をそのままオーダーすることも可能です。V12 Speedster は、ボーイングとのエキサイティングなコラボレーションの下、アストンマーティン・パーソナライゼーション・サービス部門の「Q by Aston Martin」の手によって生み出されました。印象的なカラーリングは、伝説のジェット戦闘機をモチーフとし



ASTON MARTIN

て、スカイフォール・シルバーで仕上げられています。エキゾースト・チップやベントグリル、ベーンにはマットブラックが採用され、全体として引き締まった印象を演出しています。

暗色系のテーマは、インテリアにも反映され、サテン・ダーククローム、マシンド・アルミニウム、ブラックレザー、ブラック・テクニカルテキスタイル、ブラック・カーペット、アストンマーティン・ロゴが刻印されたビビッドレッドのドアシルなどを配置して、明確なコンセプトを感じさせるスタイリングが創出されています。

V12 Speedster の心臓部には、アストンマーティンが誇る名機、5.2 リッター V12 ツインターボ・エンジンが搭載されます。最高出力は 700hp¹、最大トルクは 753Nm¹ です。フロントにミドマウントされるオールアロイ、DOHC 48バルブ・ユニットには、ZF 製 8 速オートマチック・トランスミッションとリア・リミテッドスリップ・ディファレンシャルが組み合わせられます。V12 Speedster は、0～100km/h を 3.5 秒で加速し、最高速度は 300km/h¹ に達します。

アイコンックな V12 エンジンは、その驚異的なパフォーマンスはもとより、非常に豊かなキャラクターを備え、スリリングなドライビングを実現し、爽快なエキゾースト・ノートを奏でます。アストンマーティン・エンジニアは、V12 ユニットをこのリミテッド・エディションに搭載するに当たって、専用のステンレス製エグゾースト・システムを開発しました。リアエンド中央、ディフューザーの上に取り回されたエグゾーストは、野太く、キャラクター溢れるサウンドを生み出します。V12 Speedster は、あらゆるエレメントがアストンマーティンの豊富な経験に基づいています。例えば、ウィンドスクリーンを排除して、より直感的なエンゲージメントを演出し、ドライビング体験を新たなレベルに引き上げています。

アストンマーティン・チーフエンジニアのマット・ベッカーは、次のように語っています。「V12 Speedster が提供するスリリングな体験は、他では感じることはできないでしょう。フルオープン・エレメントが、新たなエクスペリエンスを切り拓きます。このクルマは、あらゆるレベルでクルマとドライバーが一体化した、緊張感のある走りの世界を実現しています。また、アストンマーティンが誇る 5.2 リッターV12 ツインターボの圧倒的なパワーに裏打ちされたパフォーマンスと俊敏性は、他に類を見ない純粋なドライブ体験を提供します。」

アストンマーティン・ラゴンダ社長兼グループ CEO の Dr. アンディ・パーマーは、次のように述べています。「アストンマーティンは、ユニークで特別なモデルをお届けすることに全力を注いでいます。V12 Speedster は、このコミットメントを完璧に表現しています。88 台のハ



ASTON MARTIN

ンドビルト・カーは、全世界のエンスージアストやコレクター垂涎の的となるでしょう。個人的には、V12 Speedster がドライバーに提供するもの以上に、その象徴的な存在感に興奮を覚えます。このクルマは、弊社のエンジニアリングの可能性と野心を具現化しているだけでなく、アストンマーティンの栄光の歴史を表現しています。」

V12 Speedster のオーダーは、現在受け付け中です。付加価値税 (VAT) を含む車両本体価格は、765,000 ポンドからとなっています。納車は、2021 年第 1 四半期から開始される予定です。

1 推定値

こちらのプレスリリースに関する画像及び映像資料データは下記よりダウンロード可能です。

Images link: <https://we.tl/t-IEPdRA3Btg>

4K: <https://we.tl/t-QXgKG0xM1B>

HD: <https://we.tl/t-W26SRdfVV0>

###

詳しい情報は、ウェブサイト(www.astonmartin.com または www.astonmartin.com/media) から入手可能です。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

Aston Martin Japan の [Twitter](#) も開設されていますので、併せてご確認ください。

メディア問い合わせ先:

コスモ・コミュニケーションズ
アストンマーティン PR チーム

今野 博文

Tel: 03-6434-5839

M: 090-6180-0281

hirofumi_konno@my-z.co.jp

田村 沙智

M: 090-5476-2554

sachi_tamura@my-z.co.jp